

科目コード	N318
授業科目名	クリティカルケア看護論
授業科目名(英文)	Introduction to Critical Care Nursing
講義室等	1105、1356
学科	看護学科
対象学年	3年
開講学期	前学期
必修・選択の別	選択
単位数	1
時間数	15
該当ディプロマ	◎看DP-2
該当コンピテンス	◎看CP-3、○看CP-4、△看CP-5
学科	
対象学年	
開講学期	
必修・選択の別	
単位数	
時間数	
該当ディプロマ	
該当コンピテンス	
担当教員	永松 有紀
授業の概要	クリティカルケア看護の目的を踏まえ、集中治療を必要とする患者および家族の特徴と、必要な看護援助について学ぶ。事例を用いて、アセスメントに基づき看護援助を選択するまでの思考過程(臨床判断)をグループで検討する。演習では、クリティカルケア領域の認定看護師の実践知を通して臨床判断の実際を学ぶとともに、集中治療領域で求められる看護技術の基礎を修得する。講義・演習を通じて、クリティカルケア看護の専門性について考察する。
授業の到達目標 (学修効果)	1. クリティカルケアの対象となる患者および家族の特徴を説明できる。 2. クリティカルな状況にある患者について、アセスメントに基づいた看護援助についてグループで検討内容を説明できる。 3. 人工呼吸器装着中の患者(事例)に対して、安全・安楽の視点から看護援助を選択し、その根拠を説明できる。 4. クリティカルケア看護の専門性について、事例検討や演習の学びを踏まえて考察できる。
予習復習の所要時間	講義時間16時間(2時間×1コマ×8回)+予習・復習29時間
成績評価方法	講義・演習終了後の振り返り e-ラーニング(20%)、小テスト(40%)、演習の事前課題、パワーポイント資料(40%)で60点以上を合格とする。
教科書	佐藤まゆみ・林直子編「成人看護学 急性期看護Ⅱ クリティカルケア」2024年(南江堂) ISBN:978-4-524-23288-8 野崎真奈美 他編「成人看護学 成人看護技術」改訂第3版 2023年(南江堂)ISBN:978-4-524-22954-3
参考書	
その他	

非常勤講師(学内：1 学外：2)

回	年月日	曜日	時限	授業項目	授業の形態	講師	非常勤	備考
1	R8.5.28	木	II	クリティカルケア看護の目的、対象、基盤となる理論	講義	永松 有紀		
				予習 教科書の該当箇所を読んでおく				
				復習 学修目標の設定・確認テスト (e-ラーニング)				
2	R8.6.1	月	I	クリティカルケア看護における臨床判断	講義	永松 有紀		
				予習 教科書の該当箇所を読んでおく				
				復習 事例の病態、治療に関する発表資料の作成				
3	R8.6.11	木	I	クリティカルケアが必要な患者のアセスメントと看護援助(1)	発表・講義・グループワーク	永松 有紀		
				予習 事例の病態、治療に関する発表資料の作成				
				復習 講義の振り返り (e-ラーニング) ・知識の整理				
4	R8.6.11	木	II	クリティカルケアが必要な患者のアセスメントと看護援助(2)	講義・グループワーク	永松 有紀		
				予習 事例の病態、治療に関する講義資料の作成				
				復習 事前課題の作成				
5	R8.6.18	木	II	人工呼吸器装着中の患者の看護(1)	講義・小テスト・演習	永松 有紀		
				予習 事前課題の作成				
				復習 講義の振り返り (e-ラーニング) ・知識の整理				
6	R8.7.6	月	I	人工呼吸器装着中の患者の看護(2)	演習	坂井 智宏	1	
				予習 事前課題の作成		永松 有紀		
				復習 演習の振り返り (e-ラーニング) ・知識の整理		他急性期教員		
7	R8.7.6	月	II	人工呼吸器装着中の患者の看護(3)	演習	坂井 智宏	1	
				予習 演習を振り返り講義資料等を活用し根拠を復習する		永松 有紀		
				復習 事前課題への追加		他急性期教員		
8	R8.7.9	木	II	まとめ	講義・小テスト	永松 有紀		
				予習 講義内容の復習				
				復習 初回講義時に立案した学修目標の評価				